



BTRI-M304-06

平成20年 7月 1日制定
平成20年 7月 7日改訂
平成21年 5月 7日改訂
平成22年 11月 1日改訂
平成23年 4月 1日改訂
平成23年 11月 7日改訂

CASBEE 建築評価認証申請要領



一般財団法人**日本建築センター**
The Building Center of Japan

認証部 認証課

目 次

| | |
|----------------------|---|
| § 1. 認証業務の概要 | 1 |
| 1. 対象建築物・評価ツール | |
| 2. 手数料 | |
| 3. お問い合わせ先 | |
| § 2. 評価認証の流れ | 2 |
| § 3. 添付資料の作成要領 | 3 |
| 1. ファイルの体裁・提出冊数 | |
| 2. 【全体概要】ファイルについて | |
| 3. 【Q1～LR3】各ファイルについて | |

詳細につきましては、以下の規程類をご参照ください。

- ・ CASBEE 評価認証事業業務規程
- ・ CASBEE 評価認証事業業務約款
- ・ CASBEE 評価認証事業手数料規定

CASBEE 建築評価認証申請要領

§ 1. 認証業務の概要

1. 対象建築物・評価ツール

CASBEE-新築、CASBEE-新築(簡易版)、CASBEE-既存、CASBEE-改修のいずれかを使用して評価を行った建物であり、延べ面積が原則として 300 m²以上の建築物(戸建住宅を除く)が対象となります。

2. 手数料

申請の引受け後に、下表に示す手数料の請求書を発行させていただきます。

お支払いは、指定期日(請求書発行日から1か月後)までに所定の口座にお振り込み願います(振込手数料はお客様負担)。

| 申請建築物の延べ面積 | 用途 | 一申請あたりの金額(消費税別) |
|---|------|------------------------------|
| 2,000m ² 未満 | — | 事前相談の上、見積もりにて対応 |
| 2,000m ² 以上 10,000m ² 未満 | 単一用途 | 450,000円 |
| | 複合用途 | 上記の金額に1用途増える毎に150,000円を加算した額 |
| 10,000m ² 以上 50,000m ² 未満 | 単一用途 | 560,000円 |
| | 複合用途 | 上記の金額に1用途増える毎に180,000円を加算した額 |
| 50,000m ² 以上 100,000m ² 未満 | 単一用途 | 670,000円 |
| | 複合用途 | 上記の金額に1用途増える毎に210,000円を加算した額 |
| 100,000m ² 以上 | 単一用途 | 780,000円 |
| | 複合用途 | 上記の金額に1用途増える毎に210,000円を加算した額 |

※現地調査等に伴う出張等が生じた場合は、別途請求させていただきます。

※汚損、紛失等により、やむをえず評価認証書の再交付が必要な場合の手数料は、10,500円となります。

ご希望の場合は「CASBEE 建築評価認証書再交付申請書」を提出してください。

3. お問い合わせ先

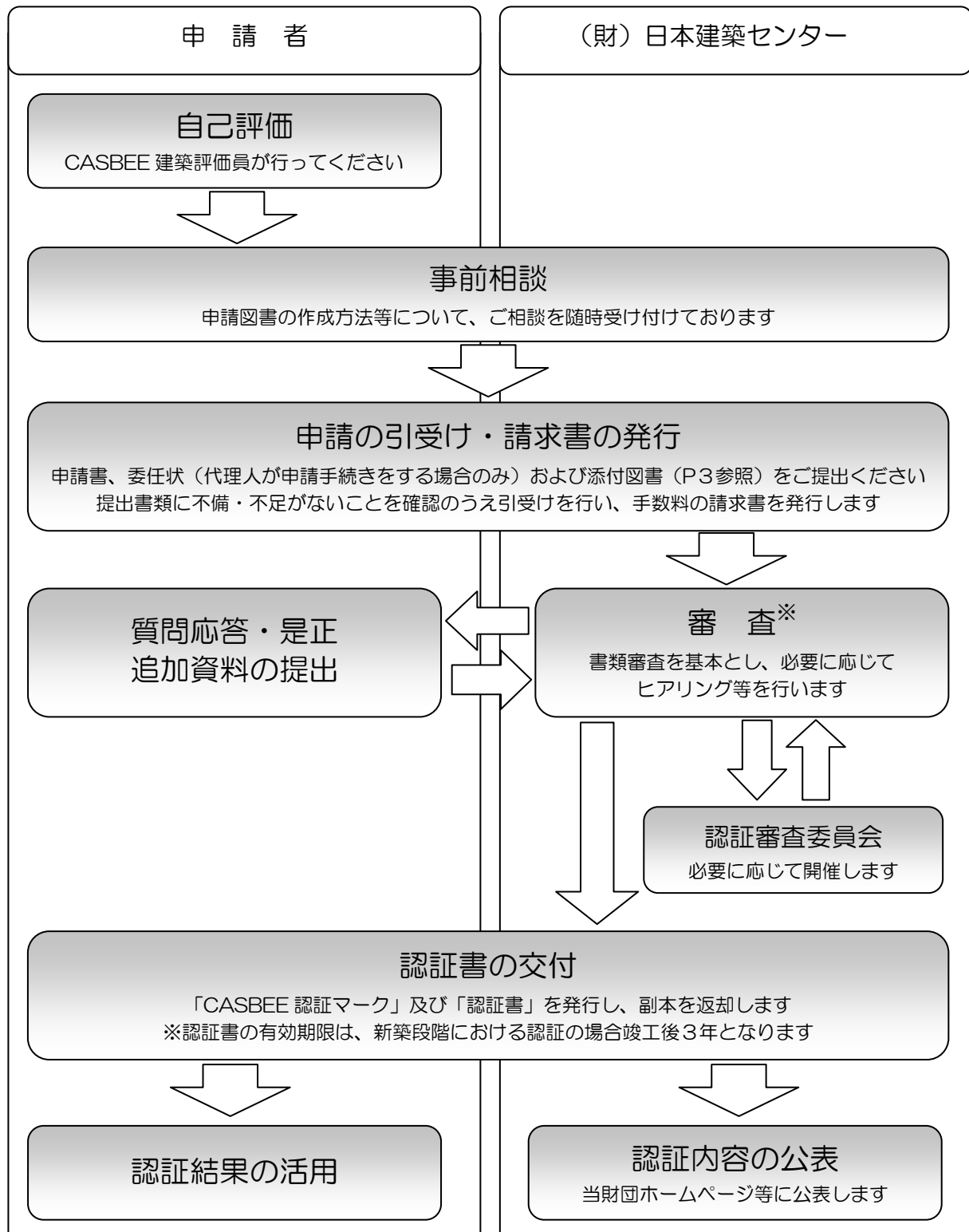
一般財団法人日本建築センター 認証部認証課
〒101-8986 東京都千代田区神田錦町1-9
TEL: 03-5283-0468 FAX: 03-5281-2824

※申請に必要な書類や、その他必要な様式類は、以下の URL よりダウンロードできます。

http://www.bcj.or.jp/c12_rating/bizunit/casbee.html

§ 2. 評価認証の流れ

認証までのフローは以下のとおりです。



※ 審査期間は、原則として申請引受日から6か月となります。設計内容の変更等の理由により審査期間が6か月を超える場合は、「審査期間延長申出書」を提出してください。

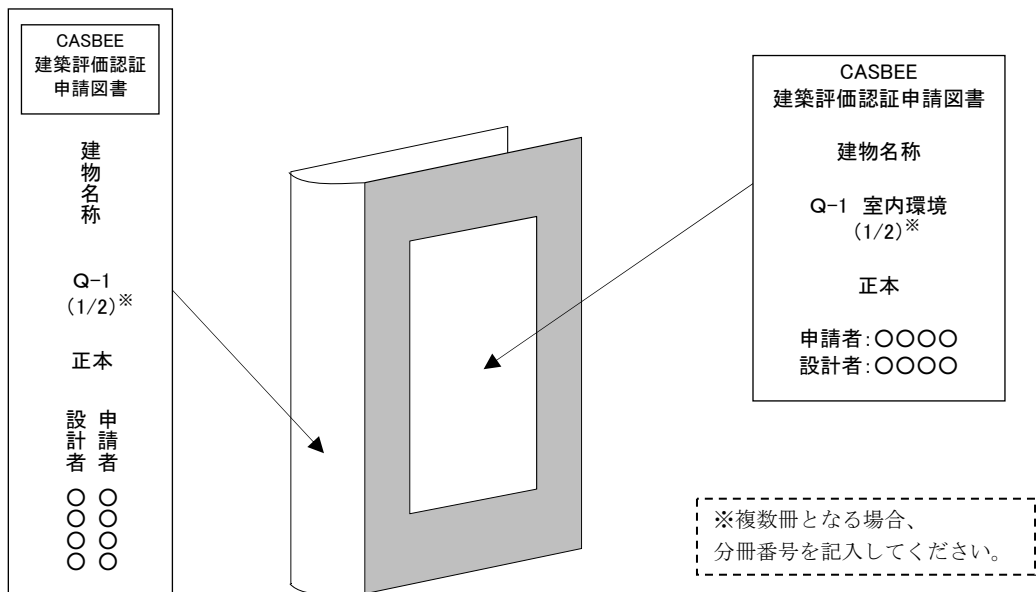
§ 3. 添付図書の作成要領

1. ファイルの体裁・提出冊数

- ・全て A4 ファイルに綴じてください(A3 用紙等は折り込んでください)。
- ・片面印刷・両面印刷のいずれでも構いません。
- ・ファイルは計 14 冊[7 種類(全体概要・Q1・Q2・Q3・LR1・LR2・LR3)について、各々正本・副本1冊ずつ)]作成して下さい。

※上記ファイルとは別途、CASBEE 評価シートの電子データを別途 CD-ROM 等でご提出ください。

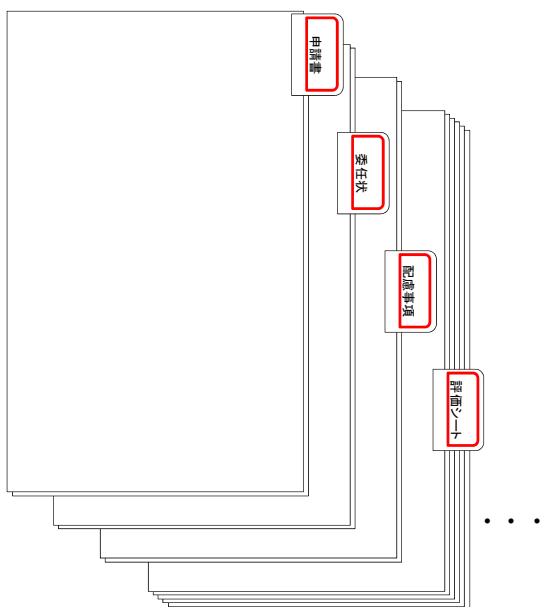
<表紙・背表紙>



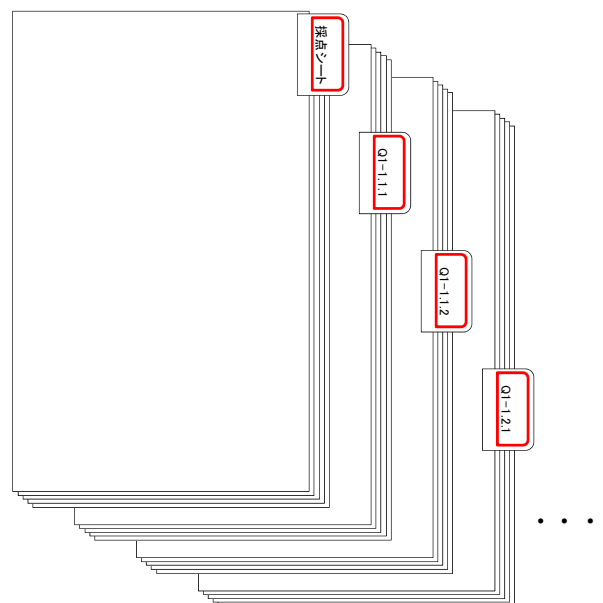
<中扉>

項目毎に、別紙にて中扉(インデックス)を作成してください。

<全体概要ファイル>



<評価項目別ファイル(例:Q1)>



2. 【全体概要】ファイルについて

以下の項目順に1冊のファイルに綴じてください。

| 項目 | 留意事項 |
|-------------------------------------|--|
| CASBEE 建築評価認証申請書 | 原本のコピーを綴じてください。 |
| 委任状 | 代理人が申請手続きをする場合のみ必要となります。 原本のコピーを綴じてください。 |
| CASBEE 建築評価認証 環境設計への配慮事項 | 評価ソフトの「環境設計の配慮事項」シートと同内容でも構いません。 |
| CASBEE 評価シート (CASBEE 評価ソフトの出力結果) | ①メインシート ②評価結果表示シート ③スコアシート ④ライフサイクル CO ₂ 計算シート ⑤環境設計の配慮事項シート ⑥採点シート ⑦計算書シート ⑧ライフサイクル CO ₂ 算定条件シート ※モノクロ出力でも構いません。 ※評価ソフトが最新バージョンであることを確認してください。 |
| 設計概要書等 | 設計概要書、特記仕様書などを綴じてください。 (概要程度がわかるもので構いません。以下同様) |
| 案内図、周辺図 | 既存建物配置、高さ、緑地等が判るものを綴じてください。 |
| 平面図 | |
| 立面図 | |
| 断面図 | |
| パース | |
| 航空写真 | 計画地とその周辺が含まれたカラーの航空写真を綴じてください。 (写真内に方位と計画地を書き入れたもの、または写真内に方位と完成予想図を入れたもの) |
| その他参考資料 | 必要に応じてご用意ください。 |

申請に必要な様式類は、当財団のホームページよりダウンロードできます。

http://www.bcj.or.jp/c12_rating/bizunit/casbee.html

3. 【Q1～LR3】各ファイルについて

<構成例（Q1 ファイルの場合）>

| 項目 | 留意事項 |
|----------|---|
| 採点シート | CASBEE 評価ソフトの採点シート(Q1 全項目)を綴じて下さい。 |
| 評価項目別の資料 | 採点シートのすべての評価項目について作成してください。 詳細は下記<作成例>参照 |
| Q1-1.1.1 | |
| Q1-1.1.2 | |
| ... | |

<評価項目別資料の作成例>

・1ページ目

採点シートのすべての評価項目について作成してください。

Q1-1.1.1 室内騒音レベル

<評価の考え方>
.....のため、
レベル●と評価した。

<裏付けとなる資料>
仕様書(1)
○○○○(2)
○○○○○(3)

・評価項目名を記載してください。

<評価の考え方>
・評価の理由(取り組み表による評価の場合は、評価した全ての項目に対する理由)を具体的に記載してください。
・評価対象外の項目や、取り組みが無い項目については、その旨記載してください(「評価対象外」「取り組みなし」等)。

<裏付けとなる資料>
評価内容を確認できる添付資料の資料名とページ番号(評価項目毎の通し番号)を記載してください。

・2ページ目以降

原則すべての評価項目について提出が必要となりますが、その項目における最低レベルを評価した場合は提出は不要です。

・採点根拠となる部分や参照すべき部分を赤の枠囲み等で明示してください。
・資料中に説明文等を加筆しても構いません。

<裏付けとなる資料の例>
□設計図書
・各評価項目に関する図面
・仕様書(平面図、立面図、断面図、パース、仕上表、部材一覧(リサイクル材等明記)、設備機器一覧等)
□省エネルギー計画書、性能評価書
□近隣状況がわかる資料
□エネルギー消費実績資料(「CASBEE 既存」では必須)
□室内環境、地域環境実測・調査資料
□カタログ、メーカー技術資料、性能データ

この部分から、.....と評価できる

- ・設計段階評価では、原則として、設計図書に明記され採用されることが確定しているもののみ評価対象となります。そのことを示す資料がない場合は、最低のレベルとなります。
- ・同じ資料が複数の項目で用いられる場合、原則として各評価項目の根拠資料としてそれぞれ添付してください。
- ・資料作成の際は、IBEC のホームページ(CASBEE 評価認証)に掲載の最新正誤表、Q&A もご確認ください。